

## 事業者間の「競争」から「共創」へ ～持続可能な交通ネットワークの構築に向けた九州MaaSの取り組み～

日時：10月15日(火) 16:50-18:35 (5限)

国際学術総合研究棟4階SMBCアカデミアホール (対面授業にて開催)



トヨタファイナンシャルサービス(株)  
モビリティサービスグループ  
グループバイス  
プレジデント  
間嶋 宏 氏



西日本鉄道(株)  
自動車事業本部  
未来モビリティ部  
モビリティサービス  
担当課長  
古屋 永吉氏



(一社)九州経済連  
合会地域共創部  
参事  
(一社)九州MaaS  
協議会  
事務局長  
木下 貴友氏

公共政策大学院では、「地域交通政策研究」の授業において、下記のとおり、トヨタファイナンシャルサービス(株) モビリティサービスグループグループバイスプレジデント兼トヨタ自動車(株) 新事業企画部主幹 間嶋 宏 氏、西日本鉄道(株)自動車事業本部未来モビリティ部モビリティサービス担当課長 古屋 永吉 氏、(一社)九州経済連合会地域共創部参事、(一社)九州MaaS協議会事務局長 木下 貴友 氏からお話を伺います。

トヨタ、西鉄、JR 九州の3社は、交通及び店舗・イベント情報のサービサー各社と協力し、2019年よりマルチモーダルモビリティサービス「my route(マイルート)」を福岡市・北九州市等で展開している。トヨタは、モビリティカンパニーを目指す取り組みの一環として「my route」の開発を行っており、西鉄及びJR九州は、「my route」を活用したMaaSの推進、AI オンデマンド交通の展開、乗りつぎ利便性の向上などの取り組みを行っています。

今年4月には、90を超える官民の団体・企業が参画し、官民連携・広域では我が国最大規模のMaaS実行組織となる一般社団法人九州MaaS協議会が設立され、利便性が高く持続可能な交通ネットワークの構築に向けた取り組みが、更に深度化しています。本講では、長年競争関係にあった西鉄とJR九州が、少子高齢化による需要減少、労働力の不足、新型コロナウイルスの影響などの逆境下で「競争から共創」に転換し、全くの異業種であるトヨタと連携して、どのようにMaaSに取り組んでいるのか考察します。

※履修登録者以外の本学学生の参加を歓迎いたします (使用言語：日本語、本学学生以外の一般の方は参加出来ません。)

—問い合わせ：交通・観光政策研究ユニット [tppu@pp.u-tokyo.ac.jp](mailto:tppu@pp.u-tokyo.ac.jp)—